

2022年3月  
No.22-056a(山)※5

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして検査内容を変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目

- [3202] HIV-1 抗体
  - [3324] HIV-2 抗体
- ※変更内容は裏面をご確認ください

#### ■変更期日

- 2022年3月31日(木)受付日分より

●対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
77	3202	HIV-1 抗体	検査項目名	HIV-1/2 特異抗体	HIV-1 抗体	日本エイズ学会・日本臨床検査医学会の標準推奨法に変更。  従来の「HIV-1 抗体」と「HIV-2 抗体」を新項目「HIV-1/2 特異抗体」に統合変更いたします。
			検体量	血清 0.5mL [容器形態:01]	同左	
			保存方法	冷蔵	同左	
			所要日数	4~7 日	同左	
			検査方法	イムノクロマト法	ウエスタンブロット法	
			基準値	陰性	同左	
			報告範囲	陰性、判定保留、陽性 [親展報告]	陰性、判定保留、陽性	
			検査実施料	660 点	280 点	
			判断料	144 点(免疫学的検査判断料)	同左	
			備考	他項目との重複依頼は避けてください。確認検査(イムノクロマト法)をご依頼の際には、改めて採血しご提出ください。	他項目との重複依頼は避けてください。確認検査(ウエスタンブロット法)をご依頼の際には、改めて採血しご提出ください。	
77	3324	HIV-2 抗体	項目コード	3202	3324	
			検査項目名	HIV-1/2 特異抗体	HIV-2 抗体	
			検体量	血清 0.5mL [容器形態:01]	同左	
			保存方法	冷蔵	同左	
			所要日数	4~7 日	同左	
			検査方法	イムノクロマト法	ウエスタンブロット法	
			基準値	陰性	同左	
			報告範囲	陰性、判定保留、陽性 [親展報告]	陰性、判定保留、陽性	
			検査実施料	660 点	380 点	
			判断料	144 点(免疫学的検査判断料)	同左	
			備考	他項目との重複依頼は避けてください。確認検査(イムノクロマト法)をご依頼の際には、改めて採血しご提出ください。	他項目との重複依頼は避けてください。確認検査(ウエスタンブロット法)をご依頼の際には、改めて採血しご提出ください。	

※その他の検査要項に変更はございません。検査要項の詳細は裏面をご確認ください。

## HIV-1/2 特異抗体

HIV-1/2の抗体確認検査に有用な検査です。

HIVはAIDS(後天性免疫不全症候群)発症の原因ウイルスで、持続感染の末に宿主の免疫システムを破壊し免疫不全を引き起こすことが知られています。その結果、発熱、疲労感、体重減少およびリンパ節腫脹等の全身症状に始まり、機能不全を主とした細胞性免疫不全を基調とし、原虫、真菌、ウイルス、細菌などによる日和見感染あるいはカポジ肉腫のような悪性腫瘍を合併します。

本項目は日本エイズ学会・日本臨床検査医学会の標準推奨法(参考文献参照)で、HIV-1/2スクリーニング検査で陽性または判定保留となった場合に実施する抗体確認検査法です。

従来のウエスタンブロット(WB)法による抗体確認検査法では低い感度や交差反応による判定困難な事例が知られ、本項目で検出感度の改善およびHIV-1とHIV-2同時測定が可能となり、HIV抗体確認検査として有用です。

### ▼疾患との関連

HIV-1,2 感染症  
AIDS(後天性免疫不全症候群)

### ▼関連する主な検査項目

HIV 抗原・抗体  
HIV-1 RNA 定量

### ■検査要領

項目コード	3202
検査項目名	HIV-1/2特異抗体
検体量	血清 0.5 mL
容器	→01
保存方法	冷蔵
所要日数	4~7日
検査方法	イムノクロマト法
基準値	陰性
報告範囲(単位)	陰性、判定保留、陽性〔親展報告〕(なし)
桁数	なし
検査実施料	660点(「D012」感染症免疫学的検査「46」「49」)*1
判断料	144点(免疫学的検査判断料)
備考	他項目との重複依頼は避けてください。 確認検査(イムノクロマト法)をご依頼の際には、改めて採血しご提出ください。
検査委託先	エスアールエル(→5)

\*1 検査実施料は2022年3月時点の情報です。2022年4月より660点(「012」感染症免疫学的検査「58」となります)。

### ■参考文献

日本エイズ学会・日本臨床検査医学界:診療におけるHIV-1/2感染症の診断ガイドライン2020版  
Moon H-W, et al: PLoS ONE 10(9) e0139169:1~7, 2015. (臨床的意義参考文献)  
Kondo M, et al: PLoS ONE 13(10) e0198924:1~10, 2018. (検査方法参考文献)